

## 地区党学校第2課【科学的社会主義】資料⑥

### マルクス「経済学批判」の序言(まえがき)より

「人間は、彼らの生活の社会的生産において、一定の、必然的な、彼らの意識から独立した諸関係に、すなわち、彼らの物質的生産諸力の一定の発展段階に対応する生産諸関係にはいる。これらの生産関係の総体は、社会の経済的構造を形成する。これが実在的土台であり、その上に一つの法律のおよび政治的上部構造がそびえ立ち、そしてそれに一定の社会的諸意識形態が対応する。物質的生活の生産様式が、社会的、政治的および精神的な生活過程一般を制約する。

…(中略)…

大づかみにいって、アジア的、古代的、封建的、近代ブルジョア的の生産様式が経済的社會構成体のあいつぐ諸時期として表示される。ブルジョア的の生産諸関係は、社会的生産過程の最後の敵対的形態である。…この社會構成体でもって人間社會の前史は終わる。」(後半の部分は「マル友」のp17上段にあります)

不破さんの話をまとめると

経済的社會構成体	日本史の区分	支配階級	被支階級
原始共産制社會	石器時代～弥生時代	無し	無し
(總体的) 奴隸制社會	大和時代～平安時代	古代王權	地方の共同体全体
農奴制＝封建制社會	鎌倉時代～江戸時代	武士	農民(農奴)
資本主義社會	明治～現代	資本家	労働者
社会主義・共産主義社會	21世紀中?	無し	無し